

ワンランクアップの庭を実現！

ガーデンルームではじめる庭生活

ガーデンルームとはサンルームのこと。ウッドデッキやテラスにガーデンルームをプラスすると、第二のリビングが楽しめます。窓の開閉によって夏の暑さをやわらげ、冬はポカポカとあたたかく、快適な時間をすごせます。お子様の遊び場として、ワンちゃんの部屋としても最適です。

担当=志村悟、ページデザイン=三部由加里 (P.62～68)



ガーデンルーム全景。折戸パネルを一ヶ所に収納することで全面開放できるので、開放感もバッチリ。

STYLE 34

ろうきゅうか 老朽化したウッドデッキを ガーデンルームに

兵庫県 N 邸

- 施工面積=約 8 坪
- 施工期間=約 30 日
- 費用の目安=約 300 万円
- 設計・施工=エクステリアデザイン神戸 (P.135 参照)
- プランナー=堀川 敦生さん

Planner | 堀川 敦生さん



ご子息のお家を工事させていただいたご縁で今回の工事になりました。お父様を中心に、本当に仲の良いご家族が集まる機会が多いため、皆様が喜んでいただけるようプランニングをしました。Nさん、バーベキューもお子様の子守もガーデンルームでバッチリですね。

N邸では、老朽化していたウッドデッキを広いタイルテラスにリフォームしました。タイルとフェンスをホワイトカラーで統一することで、明るい印象になりました。フルオープン可能なガーデンルームを設置することで、家族団欒・キッズスペース・来客用・物干し場など使い勝手の良い空間となりました。

ガーデンルームは、折戸パネルを一ヶ所に収納することで全面開放することができ、開放感をバッチリ感じることができます。

また、スタイリッシュなデザインの外部空間で、光を取り入れることができます。天候に左右されることなくお庭を有効活用できるようになっています。

ガーデンルームの天井に日よけをつけることで、日ざしの強い日でも快適な空間が確保できます。

夜にかわいいペンダント型の照明でライトアップすると、さらにすてきな空間になります。

お庭のコーナーに、全面タイル貼りのおしゃれな立水栓を設置。Nさんも重宝しています。水が飛び散ってもまわりはタイルなので、お手入れがかんたんです。

物置も、リフォーム前の無機質なものをFRP（繊維強化樹脂）製のおしゃれな物置に変更しました。単なる収納ではなく、存在感のあるお庭のオブジェとなっています。



施工後



施工前

1 リフォーム後はスタイリッシュなデザインの外部空間に。2 リフォーム前の老朽化したウッドデッキ。3 天井に日よけをつけることで日ざしの強い日でも快適な空間を確保。夜にかわいいペンダント型の照明をライトアップすると、さらにすてきな空間に。



3



施工前

1 リフォーム前のお庭全景。2 リフォーム後は広いタイルテラス。タイルとフェンスをホワイトカラーで統一することで明るい印象に。家族団楽・キッズスペース・来客用・物干し場など使い勝手の良い空間に。

1



施工後

2

※使用素材

物置=デイズガーデン「カナナ」ガーデンルーム=LIXIL(TOEX)「シーマ」木調フェンス・門戸=F&F「マイディウッド」

物置もFRP製のおしゃれな物置に変更。

物置=デイズガーデン「カナナ」



施工後



施工前

リフォーム前(右)とリフォーム後(左)。全面タイル貼りのおしゃれな立水栓を設置。

平面図・パース 作成=エクステリアデザイン神戸

